

ねんりんピック長崎2016 を支えた

おもてなしの心



地元園児らによる「ねんりんピック長崎の唄」に合わせたダンス



「瑞宝太鼓」による和太鼓演奏

ねんりんピック大会期間中は、園児、小・中学生、高校生や市民ボランティアらが、全国から訪れた選手・役員・観覧者を島原ならではの「おもてなし」で歓迎し、試合の運営をサポートするなどして、ねんりんピックを支えました。



 選手・観覧者をさまざまな形でおもてなし



災害時非常食サンプル（ゼリー）の配布



ドリンクのふるまい



シャトルバスの運行



受付・案内



健康づくりコーナー（骨密度測定）



健康づくりコーナー（血圧測定）

選手・観覧者をさまざまな形でおもてなし



食生活改善推進員と婦人会によるおもてなし鍋のふるまい



会場周辺の清掃活動



花いっぱい運動



マッサージコーナー



各小・中学校の児童・生徒が作成した選手団の応援のぼり旗を会場周辺に設置



競技補助員の皆さん



弓道交流大会(的前係)



サッカー交流大会(得点係)



サッカー交流大会(担架係)

お礼のことば

「長崎で ひらけ長寿の 夢・みらい」をテーマに長崎県で開催された「ねんりんピック長崎2016」が無事、閉幕いたしました。大会運営につきましては、各競技関係者のほか、市民皆様をはじめとするボランティアの方々、競技補助員の地元高校生の皆さんなどのご協力により、盛会裏に終えることができました。

ねんりんピックの成功に向け、市を挙げて一致団結して培った経験は、今後の市政の振興にも必ず生かされるものと確信しております。今後も引き続き、市民皆様のご理解ご協力をお願いいたします。結びに、これまでご尽力いただいた、すべての関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

平成28年10月18日



島原市長
古川 隆三郎